２０２６年１１月１０日
記者発表資料
生涯学習部図書館課 文学館長 菊地原
電話 ０４２－７３９－３４２０

「没後 30 年 遠藤周作展 ―20 代をどう生きるか」を開催します

『海と毒薬』『沈黙』『深い河』などの作品で知られる作家・遠藤周作（1923―1996）は 2026 年に没後 30 年を迎えました。この節目の年に合わせ、遠藤と縁の深い町田市、三田文学会、慶應義塾図書館の三者共催による展覧会を開催します。

遠藤は 1943 年（20 才）から 1948 年（25 才）までの戦中・戦後という激動の時代を慶應義塾大学の学生として過ごしました。この間に後の人生に大きな影響を及ぼす師らと出会い、卒業後は「三田文學」の同人として先輩作家の知遇を得て文学修行を始めます。その後 1950 年（27 才）から 1953 年（29 才）までフランスに留学。この時の体験を通じて小説家になることを決意しました。この留学時代に学んだフランス語の原書の多くは、遠藤が 40 歳から 20 余年にわたり居住した町田市の町田市民文学館に所蔵されています。

本展では、大学時代に執筆された自作文集をはじめ、原稿や書簡、書籍など、若き日の生き方を示す資料を展観します。遠藤が遺した資料や言葉が、これからの人生や将来を模索している若い世代の人々にとって一つの指針となれば幸いです。

本展は、町田市民文学館が改修工事に伴う長期休館中のため、会場を慶應義塾図書館（三田メディアセンター）とし、関連イベントも慶應義塾大学と町田市立図書館の 2 か所で実施します。遠藤周作の足跡を通じて、市外の方々にも町田市の文化や活動を広く知っていただく好機になることを期待しております。

■**会　　期**：2026 年 11 月 24 日（火）～2027 年 1 月 30 日（土）
※休室日：日曜、祝日、年末年始（12 月 25 日～1 月 11 日）
※開室時間：平日午前 9 時～午後 6 時 20 分／土曜日午前 9 時～午後 4 時 50 分
■**会　　場**：慶應義塾図書館（三田メディアセンター）1 階展示室
（港区三田 2-15-45 慶應義塾大学三田キャンパス内）
■**観 覧 料**：無料
■**主　　催**：町田市民文学館ことばらんど、三田文学会、慶應義塾図書館
協　　力：長崎市遠藤周作文学館、世田谷文学館
監　　修：加藤宗哉（作家、元「三田文學」編集長）
■**展示内容**：1.遠藤周作代表作　2.遠藤周作の 20 代　3.狐狸庵と町田
■**関連イベント**
【慶應義塾大学三田キャンパス会場】
① 対談（加藤宗哉×関根謙）「三田文學と遠藤周作」12 月 5 日（土）
② 座談会（遠藤龍之介×「三田文學」学生）「私たちの遠藤文学―世代を超えた受けとめ方」12 月 12 日（土）
③ ギャラリートーク　12 月 19 日（土）、2027 年 1 月 30 日（土）
【町田会場（町田市立中央図書館）】
① 中江有里スペシャルトーク「遠藤周作『砂の城』をめぐって」12 月 20 日（日）
② 宮崎智之講演会「“弱くある贅沢”を考える―遠藤文学の読み方」2027 年 1 月 16 日（土）
③ 加藤宗哉講演会「遠藤周作若き日の肖像」2027 年 1 月 17 日（日）